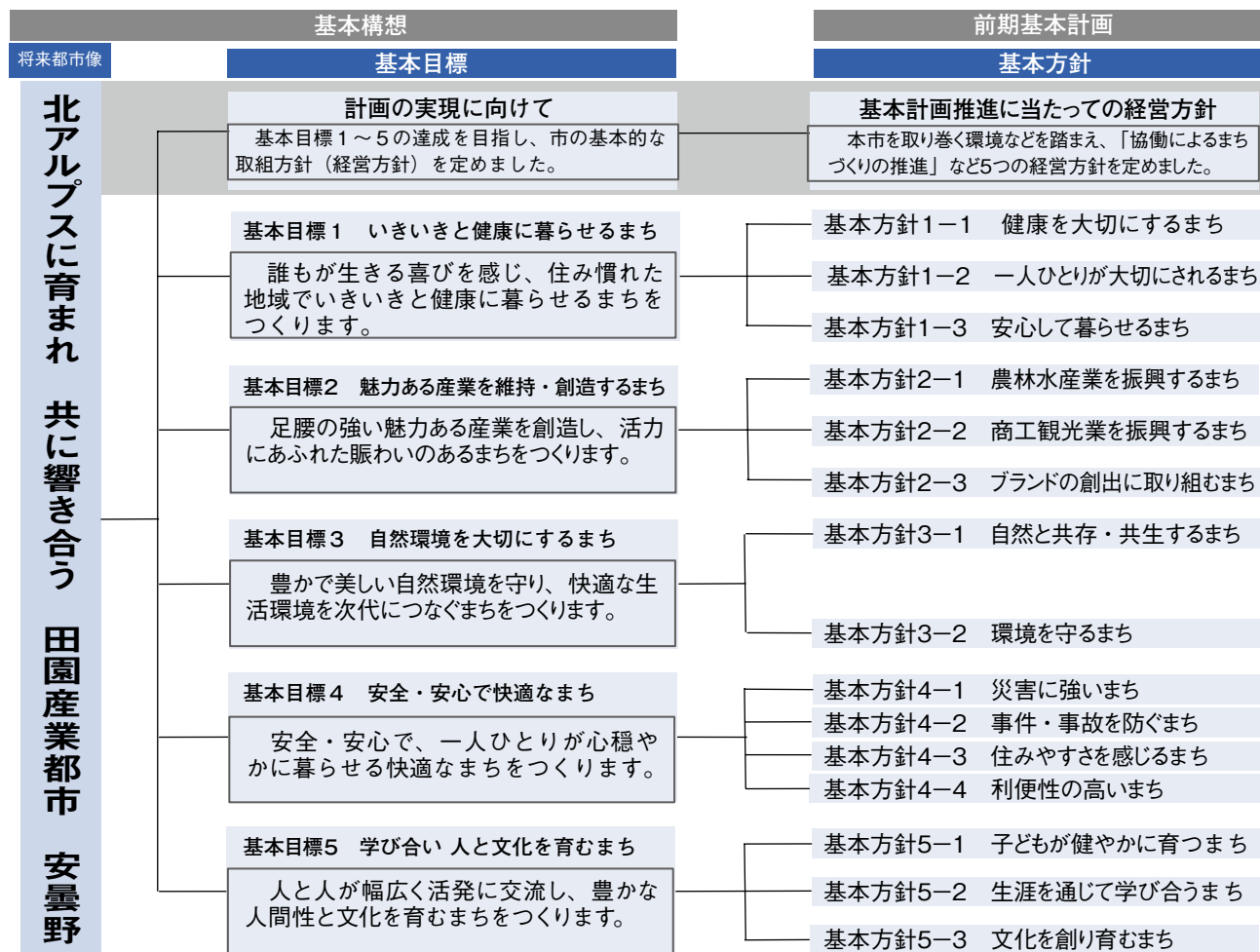


第2次総合計画

基本構想・前期基本計画の体系図



新たなステージの幕開け

第2次総合計画がスタート

市では、合併による新市発足以降、「第1次総合計画」に基づき、多くの事業に取り組んでまいりました。一方で、我が国の人口は減少局面に入っており、人口減少の抑制や地域活力の創出などが課題となっているほか、急速に変化する社会経済情勢や公共施設の統廃合問題、多様化する政策課題・地域課題などへの的確な対応が求められています。こうしたことから、「第1次総合計画」



安曇野市長

宮澤 宗弘

を継承し、さらに磨きをかけ、課題解決を目指すとともに、市民の皆さまが幸せを実感できるまちづくりを進めるため、今後10年間の市政運営の指針となる「第2次総合計画」を策定いたしました。本計画の前期基本計画には、5つの重点施策を定めました。これらの重点施策に力を入れて優先的に取り組み、誰もが暮らしやすい、暮らして良かったと思えるまちの形成を目指し、本計画に基づく施策の推進に誠心誠意全力で取り組んでまいりますので、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

第2次安曇野市総合計画の詳細は、市ホームページ、政策経営課（2階☎番窓口）、各支所などでご覧いただけます。

総 合計画は、今後10年間の基本的なまちづくりの指針となる計画です。このたび平成30年度から10年間の計画となる「第2次安曇野市総合計画」を策定しました。将来都市像は、第1次計画を引き継ぎ「北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」としました。また、平成30～34年度までが対象の「前期基本計画」では、次の5つの重点施策を優先的に取り組みます。

5つの重点施策（H30～H34）

- 健康長寿のまちづくり
- 活力に満ちた産業があるまちづくり
- 出産・子育て環境が充実したまちづくり
- 豊かな人を育むまちづくり
- 防災力・減災力の強化に向けたまちづくり

Q&A 総合計画

Q 第2次総合計画の仕組みはどうなっていますか？

A 平成30年度からスタートする第2次総合計画は、10年間の指針となる「基本構想」、前期と後期に分かれ、各5年間の施策の体系を示す「前期・後期基本計画」（左上図）、主要事業の実施期間や事業費などを示す「実施計画」で構成されます。

Q どのように事業を実施していくのですか？

A 前期基本計画では分野ごとの基本方針などを定めました。これに従い、実施計画で大型事業を計画的に位置付けるとともに、毎年度の予算編成で事業内容を確認させます。

Q 目標人口は？

A 市の人口は、平成32年から平成37年の5年間で1年あたり494人の減少が見込まれていま

す。このようなことを考慮し、前期基本計画では、34年度の目標人口を9万2000人としました。

Q 重点施策の具体的な内容は？

A 重点施策の具体的な取り組みは次のとおりです。

◆健康長寿のまちづくり 地域医療体制の充実、食育と歯科口腔保健の推進、健康ポイント制度の導入など

◆活力に満ちた産業があるまちづくり 荒廃農地解消、新産業団地の検討、自転車が楽しいまちづくり、観光情報の積極的な発信など

◆出産・子育て環境が充実したまちづくり 周産期医療体制の充実、未満児保育の充実、信州型自然保育の推進など

◆豊かな人を育むまちづくり 人権啓発活動の推進、スポーツ活動の充実、芸術文化活動の推進など

◆防災力・減災力の強化に向けたまちづくり 自主防災組織の強化と活性化、一時避難所の充実、消防防災施設・設備の充実など